

「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指して

平成 23 年 2 月末現在、市の高齢化率（全人口に占める 65 歳以上の割合）は 28.0%で、超高齢社会となっています。また、認知症の人は約 4,000 人で、今後も高齢者の増加に伴い、その増加が予測されます。

平成 21 ～ 22 年度、市では「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指し、高齢者事前登録制度の整備、徘徊 SOS ネットワークの構築などを行い、認知症の人とその家族を地域で支援する体制づくり（認知症地域支援体制構築等推進事業）に取り組みました。

「高齢者事前登録制度」

徘徊の心配がある高齢者を家族などの希望により事前に登録し、警察署や市などが情報を共有し、万一、行方不明となった場合には、やっちろ認知症応援ネットワークに活用されます。



「やっちろ認知症応援ネットワーク」とは！

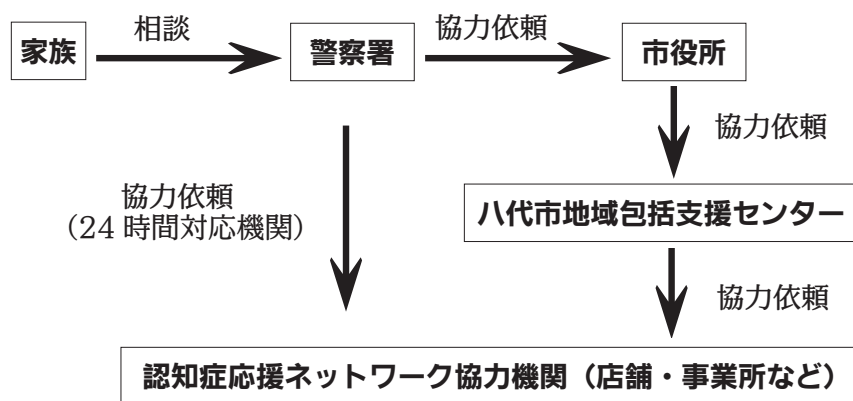
(八代市徘徊 SOS ネットワーク)

<平常時>

ネットワーク協力機関は徘徊と思われる高齢者を見かけたときは、見守りや声かけを行います。

<行方不明者発生時>

家族から警察署へネットワーク利用の申し出があれば、市役所、八代市地域包括支援センターを通し、認知症応援ネットワーク協力機関へ行方不明者の情報が伝えられます。これらの協力機関は、日常業務の中で行方不明者の早期発見、保護に協力します。



問合せ

長寿支援課

☎ 33-4436
各支所市民福祉課
(鏡支所健康福祉課)

地域包括支援センター

みなみ ☎ 38-3373
くまがわ ☎ 35-1111
とまと ☎ 37-3337
ゆうりん ☎ 33-9880
あさひ園 ☎ 30-8071
安寿の里 ☎ 53-2601

広 告